

3 底魚資源変動調査

3 - (1) 底魚漁獲統計調査

藤原 大吾

目的

沖合底びき網漁業の主要漁業対象魚種の資源の持続的利用と経営安定に資するため、地区別漁獲統計データから漁獲動向等を把握した。

方法

鳥取県の沖合底びき網漁船が所属する地区(賀露, 網代, 田後, 境港)の月別魚種別漁獲量・漁獲金額を集計し、漁獲の変動を把握した。

結果

① 鳥取県全体の漁獲動向

鳥取県の沖合底びき網の漁獲量、金額、稼働隻数の年推移を図1に示した。2023年の本県沖合底びき網の漁獲量、金額は、5,163トン、56.9億円であった。漁獲量は前年の5,847トンから684トン減少し、漁獲金額は前年の57.7億円から0.8億円減少した。稼働隻数は賀露4隻、網代10隻、田後6隻、境港3隻の合計23隻で、前年と同様の隻数となった。

主要魚種別の漁獲量において、アカガレイが1,180トン(前年1,098トン)、ソウハチが938トン(前年828トン)、マダラが376トン(前年385トン)、ハタハタが104トン(前年1,413トン)とハタハタが極端な不漁となった(表1)。

最重要魚種であるズワイガニについては、松葉がに(脱皮後1年以上の雄のズワイガニ)は194トン(前年238トン)、親がに(雌のズワイガニ)は275トン(前年268トン)、若松葉がに(脱皮6カ月以内の雄のズワイガニ)は40トン(前年35トン)であり、松葉がにには前年を下回り、親がに、若松葉がにには前年を上回った(表1)。

② 各地区別の漁獲動向

2023年の鳥取県の沖合底びき網の地区別魚種別漁獲量、金額を図2に示し、各地区の概要を以下に記載した。

○賀露(前年から漁獲量は132トン減少、漁獲金額は同額)

漁獲量は1,179トンで、その内訳はアカガレイ30%、ソウハチ25%、ズワイガニ6%で、この4魚種が漁獲の61%を占めていた。また、漁獲金額は9.1億円で、そのうちズワイガニが38%を占め、以下アカガレイ21%、ソウハチ13%となった。

○網代(前年から漁獲量411トン減少、漁獲金額0.5億円増加)

漁獲量は1,890トンで、アカガレイ34%、ズワイガニ10%、イカ類(ホタルイカ含む)16%でこの3魚種が漁獲の60%を占めていた。漁獲金額は23.3億円で、そのうち44%はズワイガニで以下、アカガレイ22%、イカ類8%となった。

○田後(前年から漁獲量33トン減少、漁獲金額0.1億円減少)

漁獲量は1,343トンでその内訳はソウハチ21%、ズワイガニ12%、マダラ13%、アカガレイ8%で、この4魚種で54%を占めていた。

また、漁獲金額は15.9億円で、そのうち50%はズワイガニで以下、ソウハチ10%、アカガレイ6%、エビ類(ホッコクアカエビ主体)が7%であった。

○境港(前年から漁獲量107トン減少、漁獲金額1.2億円減少)

漁獲量は751トンでその内訳はソウハチ25%、ズワイガニ11%、アカガレイ11%で、マダラ11%でこの4魚種で58%を占めていた。

また、漁獲金額は8.7億円で、そのうち49%はズワイガニで以下、ソウハチ12%、アカガレイ8%であった。

いずれの地区においても、毎年漁獲量の20%程度を占めるハタハタが2023年は極端な不漁により全体の0から4%程度と低調な漁獲となった。

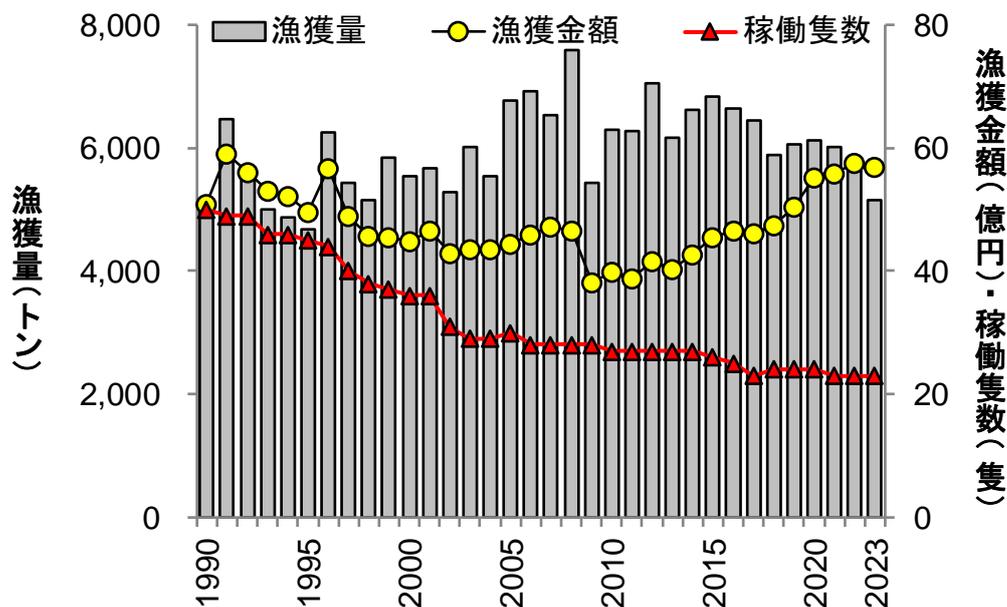


図1 鳥取県の沖合底びき網の漁獲量，金額，稼働隻数の年推移（暦年）

表1 鳥取県の沖合底びき網の主要魚種の水揚量（暦年）

（単位：トン）

区分	ハタハタ	アカガレイ	ソウハチ	マダラ	松葉がに	若松葉がに	親がに	その他	総計
2016年	2,014	1,231	571	574	242	123	569	1,163	6,656
2017年	1,691	1,331	644	417	228	146	482	1,370	6,454
2018年	941	972	499	299	331	105	556	2,182	5,885
2019年	1,259	919	510	332	291	46	371	2,342	6,070
2020年	1,294	1,057	888	554	380	54	330	1,568	6,124
2021年	1,413	1,098	828	385	275	42	294	1,680	6,014
2022年	1,334	1,098	819	326	239	35	268	1,727	5,847
2023年	104	1,180	938	376	194	40	276	1,415	5,163
平年	1,248	1,029	709	379	303	56	364	1,900	5,988
前年比%	8	107	115	115	81	114	103	82	88
平年比%	8	115	132	99	64	71	76	74	86

※平年は2018～2022年の平均

※松葉がに：脱皮後1年以上の雄のズワイガニ、若松葉がに：脱皮6カ月以内の雄のズワイガニ、親がに：雌のズワイガニ

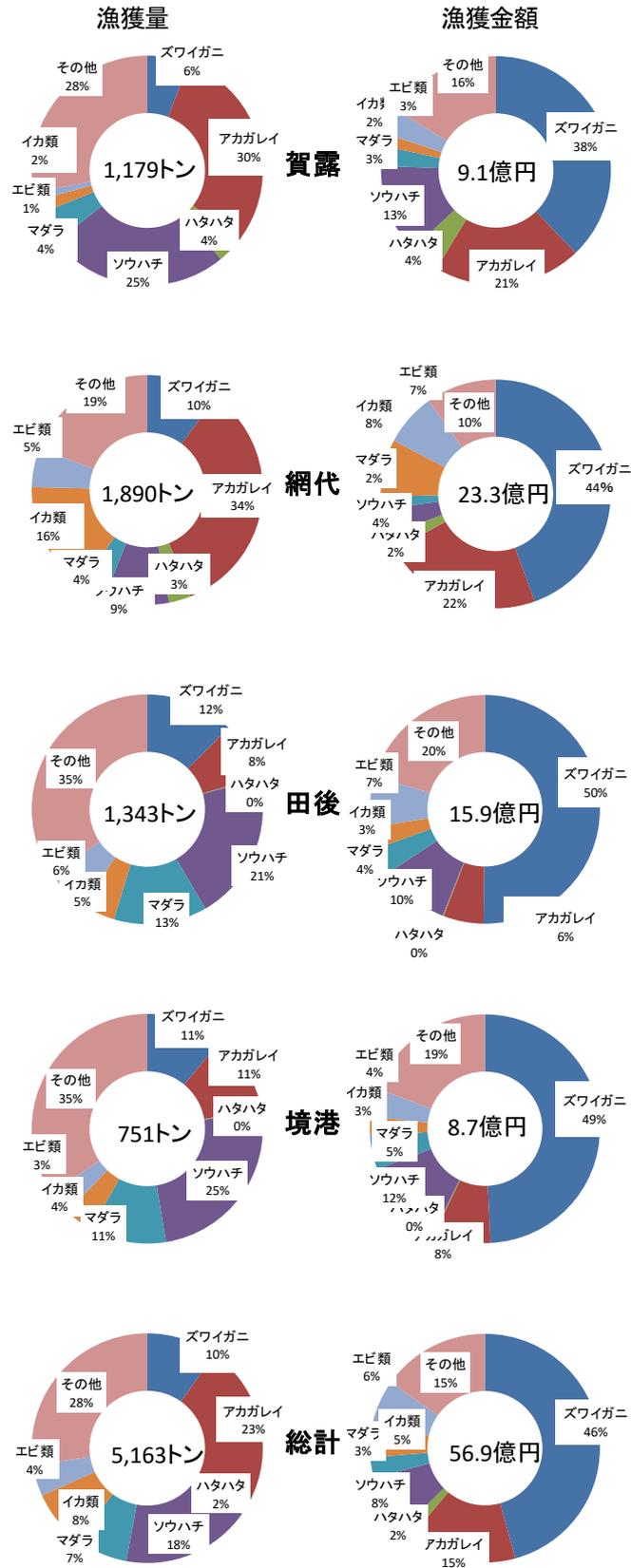


図2 鳥取県の沖合底びき網の地区別魚種別漁獲量、金額（2023年）